

JIS

ディペンダビリティ（総合信頼性）用語

JIS Z 8115 : 2019

(JSA)

平成 31 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第二部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	大 崎 博 之	東京大学
(委員)	青 柳 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	伊 藤 智	一般社団法人情報処理学会情報規格調査会 (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
	岩 淵 幸 吾	一般社団法人電子情報技術産業協会
	内 田 富 雄	一般財団法人日本規格協会
	江 崎 正	IEC/SMB 日本代表委員 (ソニー株式会社)
	酒 井 祐 之	一般社団法人電気学会
	住 谷 淳 吉	一般財団法人電気安全環境研究所
	高 村 里 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	橋 爪 弘	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	平 田 真 幸	IEC/CAB 日本代表委員 (富士ゼロックス株式会社)
	水 本 哲 弥	東京工業大学
	山 根 香 織	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 45.10.1 改正：平成 31.3.20

官 報 公 示：平成 31.3.20

原 案 作 成 者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第二部会 (部会長 大崎 博之)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 分類	1
4 用語及び定義	2
附属書 JA (規定) 動作と保全との時間関係	86
附属書 JB (参考) 形容詞用語に関する用語一覧	87
附属書 JC (参考) ソフトウェアに関する用語表	88
附属書 JD (参考) 機能安全に関する用語対比表	90
附属書 JE (参考) FMEA, FTA 及び ETA に関する用語対比表	92
附属書 JF (参考) サービス信頼性用語におけるこの規格と国際規格との関連	96
附属書 JG (参考) ディペンダビリティに関わる環境用語	99
附属書 JH (参考) 参考文献	101
附属書 JI (参考) 索引	103
附属書 JJ (参考) JIS と対応国際規格との対比表	144
解 説	146

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS Z 8115:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ディペンダビリティ（総合信頼性）用語

Glossary of terms used in dependability

序文

この規格は、2015年に第1版として発行された IEC 60050-192 及び Amendment 1:2016 を基に、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、我が国の現状を鑑み、対応国際規格には規定されていない用語（信頼性データ解析、ディペンダビリティマネジメントなど）を日本工業規格として追加している。ただし、追補（amendment）については、編集し、一体とした。また、前版より引き継いだ用語など対応国際規格には規定していない用語についても日本工業規格として追加している。追加した独自の用語の分類は、分類番号に“J”を付けた（例えば、192J-01-101）。さらに、附属書 JA～附属書 JI は、対応国際規格にはない事項である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧にその説明を付けて、附属書 JJ に示す。

1 適用範囲

この規格は、信頼性、保全性及び安全性の分野に用いるディペンダビリティに関する主な用語及び定義について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60050-192:2015, International Electrotechnical Vocabulary – Part 192: Dependability 及び Amendment 1:2016 (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

この規格には、引用規格はない。

3 分類

ディペンダビリティ（総合信頼性）用語の分類は、次による。

- a) 192-01, 192J-01：基本概念 (Basic concepts)
- b) 192-02, 192J-02：状態及び時間 (States and times)
- c) 192-03, 192J-03：故障 (Reliability related concepts: failures)
- d) 192-04, 192J-04：フォールト (Reliability related concepts: faults)
- e) 192-05, 192J-05：信頼性性能 (Reliability related concepts: measures)
- f) 192-06, 192J-06：保全及び保全支援（概念） (Maintenance and maintenance support related concepts)